

令和2年度第2四半期景況調査〔7月～9月期〕報告

由布市商工会

I : 調査要領

1. 調査概要

- 1) 調査期間 : 令和2年7月～令和2年9月
- 2) 対象企業数 : 由布市商工会管内15事業所 (9月に実施)
- 3) 調査方法 : 経営指導員によるヒアリング調査

2. ヒアリング事業所の地区別内訳

地区別	庄内	挾間	湯布院
事業所数	5	5	5

3. 業種別内訳

業種	建設	製造	小売	サービス
事業所数	2	3	5	5

※調査対象事業所数が少ないため、全事業所での報告とします。

内容はD I 値のみ報告いたします。

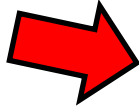
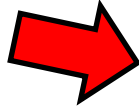
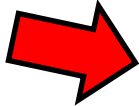

※D I (前年同期比) は、売上額 (完成工事額) ・客数 (受注工事額) ・資金繰り ・採算について増加 (上昇、好転) 事業所から減少 (低下・悪化) の事業所割合を差し引いた値です。

(+の場合は「好転」、▲の場合は「悪化」となります。






II : 管内景況判断

1. 令和2年7月～9月調査分

1) 令和2年7月～9月景況判断

項目	売上高 完成工事高	客数 受注工事数	資金繰り	採算
景況判断				
D I 値	▲80.0%	▲86.7%	▲50.0%	▲80.0%

2) 令和2年10月～12月の景況見通し

項目	売上高 完成工事高	客数 受注工事数	資金繰り	採算	業況
景況判断					
D I 値	▲92.9%	▲86.7%	▲69.2%	▲80.0%	▲85.7%

3) 設備投資計画

① 設備投資計画の有無

設備投資計画	すでに実施	ある	なし
事業所数	2	2	13

② 設備投資内容

サービス設備、車両、付帯設備

4) 現在直面している経営上の課題：上位3件（複数回答あり）

順位	問題点	事業所数
1位	需要の停滞	6
2位	従業員の確保難	6
3位	大型店の進出	3

5) 業況判断の背景として事業所が感じていること

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスによる各社の動きがなくなっている。身も75才を過ぎ全てに低下して来ていて今までの様に出来なくなって、その上に息子をたよりにしていたが病に倒れそれもかなわなくなった。 ・新型コロナウイルスの影響により需要が停滞している。新たなビジネスモデルへの転換を視野に入れる必要がある。 ・新築の建築需要が低下している。小口のリフォーム需要で対応している。(コロナの影響) ・少し仕事は増えても金額目で大きな仕事をもらえることが少ない。 ・6月以降、コロナウイルスの影響が徐々に増してきている。 ・高齢者が多く、2人か1人で生活している。買い物が少ない。若い人は町外で仕事をする人が多い。 ・家事での使用が増え、コロナの影響はあまり感じないが、今後の経営に不安を感じている。 ・今期は前期に比べ、まだまだコロナウイルスの影響があり、特に販売部門への影響で売り上げは大幅に減少している。売り上げは減少したが、人件費は削れないので、助成金等でなんとか資金繰りを調整している。 ・中元時期なので、多少売上はあったが、利益は減少。お客様の減少もある。 ・新車の販売台数が減少し、コロナの影響で材料の仕入れも遅れている。 ・客の高齢化が進み客単価が落ち込みが大きい。ニュー技術の開発が課題です。 ・観光客をメインターゲットにしているため、コロナウイルスの影響が大きい。家族経営のため、人件費等の面では他店舗よりも、やりやすいが、顧客の減少は痛手である。 ・前期に比べ、客足は戻りつつあるが、依然としてコロナウイルスの影響が強く、経営的にも厳しい状況が続く。二次感染の広がりとともに売上も減少し始めている。 ・コロナの影響と豪雨災害の影響で、非常にさびしい状況が続いている。
